



思い出深い大会に

おもてなしの心際立つ



地域の皆さんの熱い応援



大会を終えて
長谷川泰生 実行委員長

やさしく、あたたかく、
そして熱く

市民のおもてなしの心遣いが強く感じられた大会でした。人の力ってすごい。個々の小さな力が集まって大きなパワーを生み、大会を支えてくれました。「むかつく」という言葉がパワーワードになり、エイドという言葉も浸透し、ダブルマラソンが身近なものになったと思います。今年も多くの出会いと感動を与えてくれました。その中で生まれるいろいろなドラマ。「むかつく」が最高。来年もよろしく！という声に応えるべく、大会に携わるすべてのみんなが「よかった」と思える大会を目指して、みんなで走り続けます。



ボランティア



選手をサポート

第2回 JAL 向津具 むかつく ダブルマラソン

限界の向こう側



404人がスタート



ダブルフルマラソン
84.39km



6月10日(日)、油谷総合運動公園をスタート・ゴールとして、ダブルフルマラソン・シングルフルマラソン・棚田ウォークの3種目が行われました。ボランティアスタッフや地域のみなさんのあたたかいおもてなしを受け、1,139人の出場者がランやウォークを楽しみました。ゲストランナーとして油谷繁さん(中国電力)を迎えた本大会を写真で振り返ります。



シングルフルマラソン
42.195km



465人がスタート

景色を満喫

棚田ウォーク
約30km



自己記録を超える